

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	凜 守山		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援に関する記録を事細かにソフトに記入している。	休みの職員も必ず目を通してため、支援の検証・改善の話し合いがしやすい。	引き続き続けていく。
2	行事の様子を発信している。	Instagramの投稿やストーリーで行事の様子をお伝えしている。	引き続き定期的に発信していく。
3	子どもが自己選択できる支援をしている。	色々な種類のおやつをカゴに入れ、食べたいおやつを選んでもらっている。また制作のクレヨンやペンの色、行動に対して等、自己選択できる機会が多い。	引き続き自己選択できる機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の開催をしても参加が少ない。	母の就労や多忙で参加できない保護者の方が多い。	研修の開催だけでなく、書面でも発信できるようにしていきたい。
2	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていない。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしていない。	父母の会はそれぞれに活動されているが、交流する機会が持てる土、祝日は入浴希望のご家族が多いため、そのような行事を考えてなかった。	保護者同士やきょうだい同士で交流できる行事を開催していきたい。
3	マニュアルをご家族に周知できていない。	マニュアルの周知を仕方を悩んでいた。	lineでマニュアルを閲覧できるようにする。